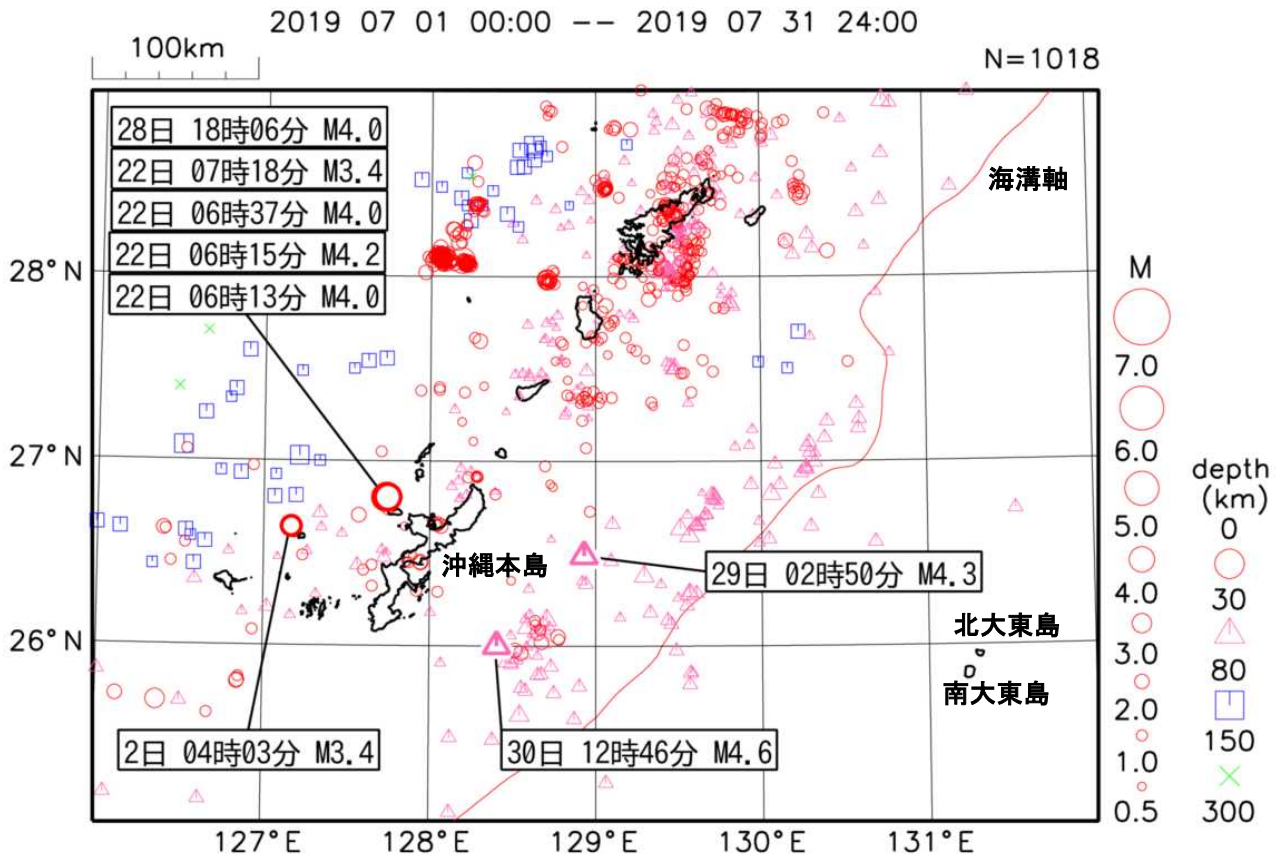


# 地震活動図

2019年7月

南大東島地方気象台

## 震央分布図



図中の記号 M: マグニチュード depth: 震源の深さ

N: 地震回数 (マグニチュード0.5以上の回数です)

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

### [ 概況 ]

今期間に、大東島地方及び沖縄本島地方とその周辺 (図の範囲内) で観測した地震は1018回 (6月694回) で、このうちM4.0以上の地震は8回 (6月0回) でした。

また、震度1以上を観測した地震は、大東島地方では無く (6月0回)、沖縄本島地方で9回 (6月1回) でした。このうち、震央分布図範囲外で13日09時57分に奄美大島北西沖で発生した地震 (M6.0、深さ256km) により、鳥取県から沖縄県の広い範囲で震度3~1を観測しました (震度分布図参照)。

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2019年7月1日～31日）

震源時 各地の震度（沖縄県のみ記載）	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2019年07月02日04時03分 沖縄県 震度 1：粟国村浜, 粟国村役場*	沖縄本島近海	26° 38.5' N	127° 09.9' E	14km	M3.4
2019年07月13日09時57分 沖縄県 震度 2：国頭村奥, 国頭村辺土名*, 今帰仁村仲宗根* 震度 1：名護市宮里, 名護市豊原, 名護市港*, 本部町役場*, 恩納村恩納*, 宜野座村宜野座*, 伊平屋村我喜屋, 那覇市樋川, 那覇空港, 宜野湾市野嵩*, 沖縄市美里*, 読谷村座喜味, 中城村当間*, 西原町与那城*, 与那原町上与那原*, 南風原町兼城*, 渡嘉敷村渡嘉敷*, 座間味村座間味*, 渡名喜村渡名喜*, うるま市みどり町*, うるま市石川石崎*, うるま市与那城平安座*, うるま市与那城饒辺*, 八重瀬町東風平*, 南城市知念久手堅*, 南城市佐敷佐敷*, 久米島町謝名堂, 久米島町比嘉*	奄美大島北西沖	29° 14.1' N	128° 10.7' E	256km	M6.0
2019年07月22日06時13分 沖縄県 震度 2：今帰仁村仲宗根*, 本部町役場* 震度 1：名護市港*, 国頭村辺土名*, 恩納村恩納*	沖縄本島近海	26° 48.1' N	127° 44.0' E	16km	M4.0
2019年07月22日06時15分 沖縄県 震度 2：今帰仁村仲宗根* 震度 1：名護市港*, 国頭村辺土名*, 本部町役場*, 恩納村恩納*, 伊江村東江前* 沖縄市美里*	沖縄本島近海	26° 48.3' N	127° 44.3' E	17km	M4.2
2019年07月22日06時37分 沖縄県 震度 1：今帰仁村仲宗根*, 本部町役場*, 伊江村東江前*	沖縄本島近海	26° 48.1' N	127° 44.5' E	16km	M4.0
2019年07月22日07時18分 沖縄県 震度 1：本部町役場*	沖縄本島近海	26° 48.3' N	127° 44.3' E	15km	M3.4
2019年07月28日18時06分 沖縄県 震度 1：今帰仁村仲宗根*, 本部町役場*, 伊江村東江前*	沖縄本島近海	26° 48.2' N	127° 44.7' E	15km	M4.0
2019年07月29日02時50分 沖縄県 震度 1：国頭村辺土名*	沖縄本島近海	26° 29.2' N	128° 55.8' E	45km	M4.3
2019年07月30日12時46分 沖縄県 震度 1：うるま市みどり町*, 南城市知念久手堅*	沖縄本島近海	25° 59.9' N	128° 24.3' E	44km	M4.6

\*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

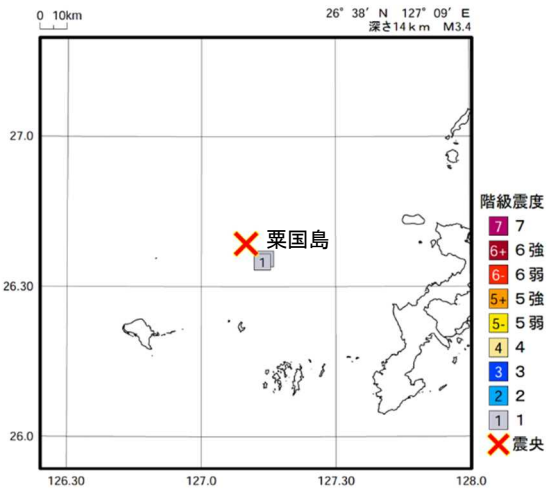
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

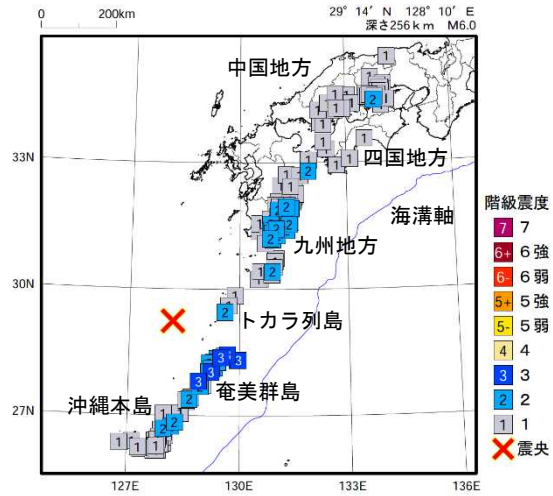
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

# 大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図

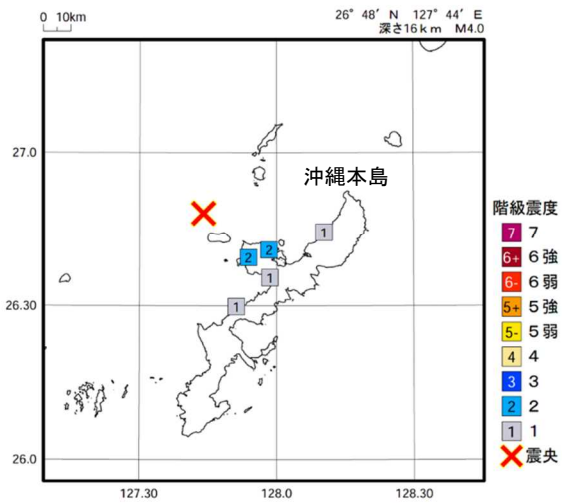
2019年 7月 2日04時03分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



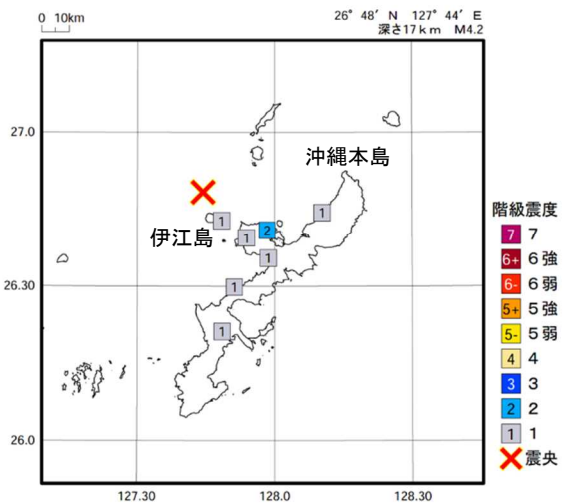
2019年 7月13日09時57分 奄美大島北西沖の地震の震度分布図



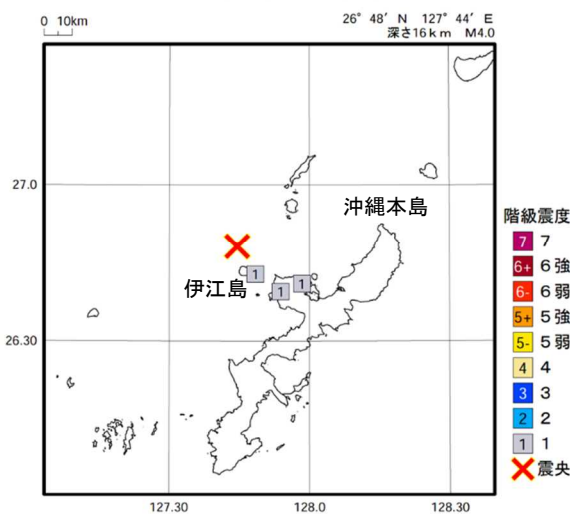
2019年 7月22日06時13分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



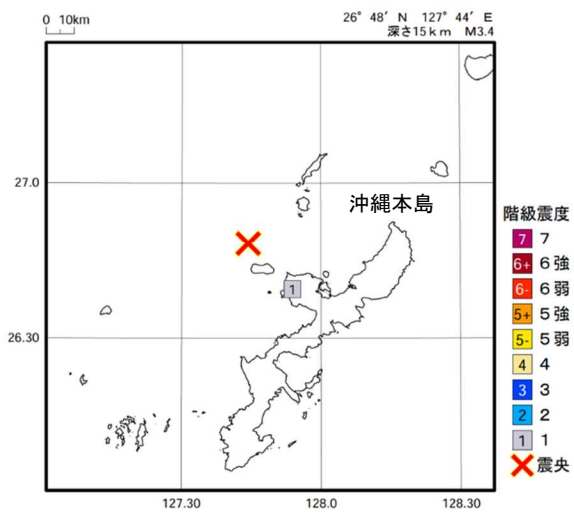
2019年 7月22日06時15分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



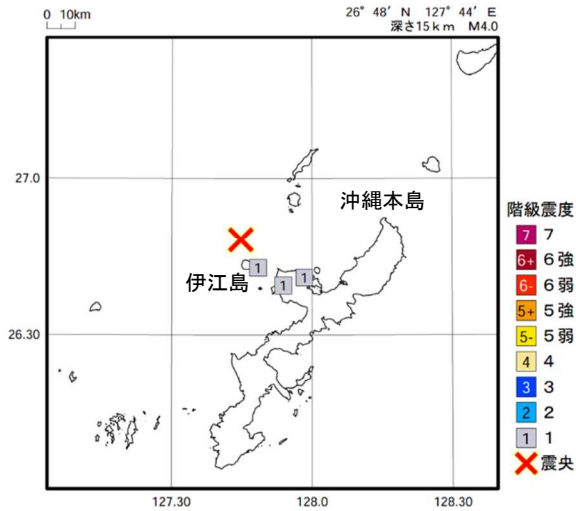
2019年 7月22日06時37分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



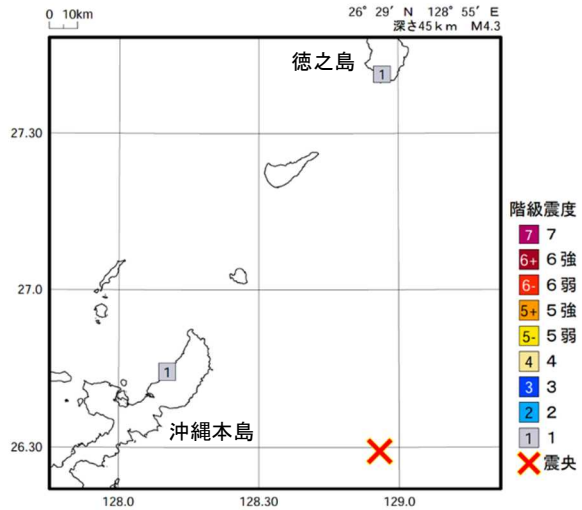
2019年 7月22日07時18分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



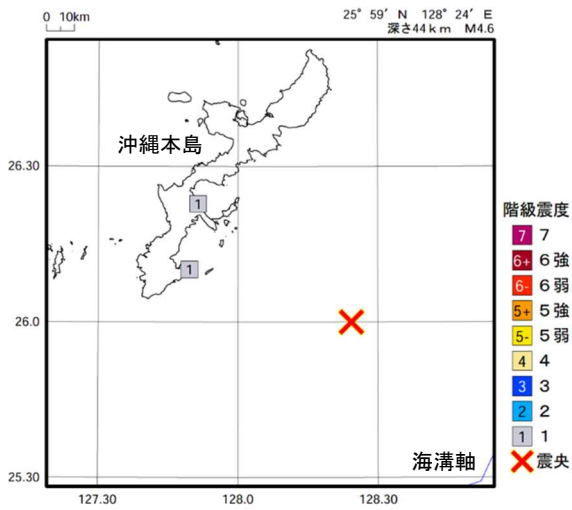
2019年7月28日18時06分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



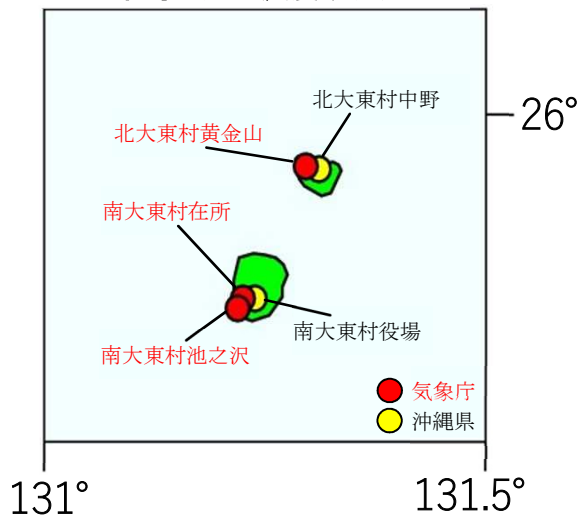
2019年7月29日02時50分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



2019年7月30日12時46分 沖縄本島近海の地震の震度分布図



大東島地方の震度観測点



本件に関するお問い合わせ先  
 (南大東島地方気象台)  
 電話 09802-2-2006  
<https://www.jma-net.go.jp/daitou/>

## 9月1日は「防災の日」 ～防災訓練に参加しよう！～

私たちの住む日本は、豊かな自然に恵まれています。その一方で、時に私たちに容赦なく襲いかかり、甚大な災害をもたらします。

9月1日は、「防災の日」です。これは、1923年（大正12年）9月1日に発生した「関東大震災」にちなんだもので、例年台風の襲来が多い時期でもあることから、1960年（昭和35年）に制定されました。地震や風水害等に対する心構えを育成し、「災害への備えを怠らないように」との戒めも込められています。また、「防災の日」を含む1週間は「防災週間」となっています。

地震や津波等の自然災害は、いつ襲ってくるか分かりません。そのため、平常時より災害に対する備えを心がけ、発災時には自ら身の安全を守るとともに、「自助」、「共助」、「公助」による社会全体における防災力を向上させる必要があります。そこで、いざという時に適切な行動をとるためには、**日頃からの訓練**が重要となります。

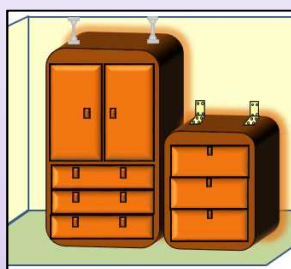
「防災の日」や「防災週間」では、全国各地の自治体などで防災訓練が行われます。地域などの防災訓練に積極的に参加しましょう。

また、家庭や職場などで防災について話し合っはいかがでしょうか。いざという時の避難場所や避難経路、連絡方法などを事前に確認しておくことが大切です。

### 地震や津波への備え



食料・飲料などの非常用品の備蓄



家具の固定



避難場所や避難経路の確認



防災訓練に参加

不意の地震や津波にも対応できるように、日頃からの「備え」と「訓練」が大切です！

- ✓ 家具を固定して倒れないようにしましょう！
- ✓ 食料・飲料や非常用品などを備蓄しましょう！
- ✓ 避難場所や避難経路などを家族で話し合っておきましょう！
- ✓ 地域の防災訓練等に参加し、正しい防災知識を身につけましょう！



地震・火山に関する情報は  
沖縄气象台ホームページまで

<https://www.jma-net.go.jp/okinawa/data/jishin/month.html>

沖縄气象台

検索

